

一般社団法人日本循環器看護学会  
令和元年度定時社員総会議事録

1. 日 時 令和元年 10 月 20 日（日）15 時 00 分から 16 時 00 分まで
2. 場 所 日本赤十字看護大学広尾キャンパス 204 講義室  
東京都渋谷区広尾 4 丁目 1 番 3 号
3. 出席者 社員総数 50 名 この議決権 50 個  
出席社員 37 名（委任状を含む） この議決権 37 個  
出席理事 吉田俊子、宮脇郁子、阿部隼人、角口亜希子、小泉雅子、瀬戸奈津子、仲村直子、  
西田和美、三浦英恵（以上理事）  
眞茅みゆき（以上監事）
4. 議長 吉田俊子理事長
5. 議事録署名人の選出  
議長より、議事録署名人について阿部隼人社員及び前田靖子社員が指名され、議場にその承認が求められたところ、異議なく満場一致をもって承認された。
6. 議事の経過の要領及び結果  
議長は開会を宣し、以上のとおり定足数に足る社員の出席があり本総会は適法に成立した旨を報告し、議案の審議に入った。

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告の承認の件

議長より、資料をもとに、標記議案についての説明がなされ、議場にその承認が求められたところ、異議なく満場一致をもって原案どおり承認された。

第 2 号議案 平成 30 年度決算の承認の件

瀬戸奈津子総務担当理事より、資料をもとに、標記議案についての説明があり、続いて監査報告書が示され、監査結果についての報告がなされた後、議場にその承認が求められたところ、異議なく満場一致をもって原案どおり承認された。

第 3 号議案 第 18 回学術集会長の選任の件

議長より、理事会にて医療法人名古屋澄心会名古屋ハートセンター看護部長の前田靖子先生が推薦されたことが報告され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

（報告事項）

1. 平成 30 年度定時社員総会報告

議長より、資料をもとに、標記報告事項について説明がなされた。

## 2. 総務報告

瀬戸奈津子総務担当理事より、資料をもとに、標記報告事項について以下の説明がなされた。  
平成30年度末の会員数は、個人会員1,245名、賛助会員1名であり、前年同時期より77名減少した。  
また、定款第12条により、来年7月末には会費を2年間滞納した会員は自動的に資格を喪失する。

## 3. 理事会報告

議長より、資料をもとに、平成30年度の理事会開催状況について報告がなされた。

## 4. 令和元年度事業計画・予算

各委員長より、資料をもとに、標記報告事項について以下のとおり報告がなされた。

### 1) 学術委員会（三浦英恵理事）

- ・海外の循環器看護に関連する会（GCNLF等）との交流を引き続き行う。  
→東南アジアとの交流も検討中。
- ・循環器看護領域の学術的基盤の構築と発展に向けた、循環器看護の定義の検討および策定。  
→ワーキンググループにて検討中であり、次回の学術集会で経過報告を予定している。
- ・年3回の教育セミナー開催。
- ・将来的な教育セミナーのあり方の検討。（WEBセミナー、東京・大阪・仙台以外での開催）

### 2) 学会誌編集委員会（宮脇郁子理事）

- ・年2回（第15巻第1号、第15巻第2号）の学会誌発行、第16巻第1号の発刊準備。
- ・電子投稿システム運用の評価・改善（継続）。
- ・専任査読委員増員の検討（継続）。
- ・投稿原稿の活性化へ向けて、第16回学術集会において委員会セミナー・投稿相談会を開催。

### 3) 政策・診療報酬委員会（瀬戸奈津子理事）

- ・診療報酬改定にむけて循環器看護分野からの医療技術、診療体制等についての提案。
- ・医療保険に関する外部機関への会議等の出席、および渉外。
- ・心不全患者の再入院予防介入プログラム研究の継続。

### 4) 広報委員会（小泉雅子理事）

- ・学会ホームページ会員専用コンテンツの充実。  
→他学会からのリンク掲載依頼等も前向きに検討していく。
- ・ニューズレター第13号・14号の発行。

### 5) 倫理委員会（小泉雅子理事）

- ・事業計画1、2、5についてはこれまで該当する事態が生じなかったが、継続していく。
- ・利益相反指針を適宜修正の上、運用していく。

### 6) 国内交流委員会（仲村直子理事）

- ・国内の循環器看護関連法人・学会・研究会などを中心とした諸団体との交流をはかる。  
→これまではジョイントシンポジウムの企画・承認が主であったが、開催後の評価も担っていく。

### 7) 選挙管理委員会（角口亜希子理事）

- ・2020年度選挙に向けたスケジュールの立案。

8) 総務委員会（瀬戸奈津子理事）

- ・会員が減少傾向にあるため、会員獲得に力を入れていく。  
→直近では、学術集会でのチラシ配布や懇親会での勧誘。

9) 収支予算書（瀬戸奈津子理事）

- ・収入 35,901,300 円、支出 35,482,570 円、収支差額 418,730 円の黒字予算とした。
- ・租税公課（70,000 円）が少なく、修正の必要があるとの指摘があった。  
→消費税を 2 年分まとめて納めたため、平成 30 年度の決算では 722,800 円の支出となっているが、今年度は 450,000～500,000 円の支出が見込まれる。  
不足分については、旅費交通費と印刷製本費の余剰分で調整を図ることが確認された（旅費交通費は、理事会・社員総会を別日とすることを想定して計上したが、今年度は同日開催となるため）。
- ・諸会費は、「日本看護系学会協議会（80,000 円）」と「看護系学会等社会保険連合（150,000 円）」をあわせた 230,000 円のはずだが、150,000 円しか計上されていないとの指摘があった。  
→旅費交通費の余剰分で補填することとなった。

5. 令和元年度会員総会について

議長より、資料をもとに、標記報告事項について説明がなされた。

6. 第 16 回循環器看護学会学術集会報告

眞茅みゆき会長より、本年度学術集会開催について報告がなされた。

開催日程は 2019 年 11 月 2 日（土）～3 日（日）。事前参加登録者数 850 名。その他、ランチョンセミナー等の企画について報告がなされた。

7. 第 17 回学術集会長挨拶

宇都宮明美次期会長より、標記報告事項について、説明がなされた。

開催日程：令和 2 年 10 月 10 日（土）～11 日（日）、演題登録期間：令和 2 年 3 月 1 日（日）～5 月 20 日（水）、事前参加申込期間：令和 2 年 6 月 1 日（月）～9 月 20 日（日）。会場は京都テルサ（京都市南区東九条下殿田町 70）。テーマは「循環器看護におけるエビデンスとナラティブの統合」。

以上により全ての議案が終了したため、議長は本総会の閉会を宣言した。